

第 1 回学校運営協議会

令和 7 年 6 月 4 日（水）午後 2 時から
徳島県立徳島中央高等学校 大会議室

1 開会

2 任命及び自己紹介

3 学校長あいさつ

4 会長・副会長の選出

会長に長井会長、副会長に安藝校長が選任された。

5 協議

(1) 令和 7 年度学校経営方針について

校長から説明

(2) 令和 7 年度教育課程の編成について

各課程及びしらさぎ中学校から説明

(3) 令和 7 年度学校評価計画について

各課程及びしらさぎ中学校から説明

(4) 学校運営協議会委員からの提言について

- 昨年度はタブレットの不具合で生徒全員に配布できていないと聞いた。

防災に関して、地域のお手伝いをさせてもらっているが、中学校、高等学校での防災教育は充実していると感じた。昨年度、1 月には徳島中央高校で、防災に関する講演会が行われ、地域の方々も参加した。更なる取り組みを期待したい。

- ソフト面の充実について意見があったと教育委員会へ伝えてほしい。

→ 今年度はタブレットを全員に配布できている。各教科で授業中にタブレットを使っており、総合的な探求の時間においては、理数探究でタブレット活用計画を立てている。教員の資質、能力も重要であり、今年度は 2 回程度、教員対象の研修を予定している。

→ 防災については、昨年度、防災士を取得した生徒が 1 名いる。また、10 月にはしらさぎ中学校で地域と連携した防災の研修会を予定している。

- GIGA スクール構想ということですが、通信制はレポートは郵送ですか。

Teams の課題機能を使ってフィードバックすることもできる。

→ ハイブリッド、郵送のどちらでも可能なように検討していきたい。

- 不登校の生徒に対する有効な支援の手立てはないか思案している。

→ 小さいことでもよいので、係の仕事をしたり、学習面でも、できるという経

験を少しずつしていくことで自信を持つことが大切。

→ 中学校と連絡を図ることや、様々な世代の人がともに学びながら、みんながお互いの話に耳を傾け、それぞれを認め合っていくことが大事。

→ 年齢、国籍の異なる仲間が協力し、関わり合っている。勤務の関係で、遅刻、欠席することもあるが、学びたいという思いがあって通っている。

○ 子どもが不登校になったとき、どうしたらよいか戸惑うが、待つしかない。厳しい時期を乗り越えて安定することができれば対処はできる。フリースクールへ行き専門家と相談する方法もある。

○ コミュニケーション、人とのふれあいが大切ではないかと思う。「あなたの味方よ」、という思いで話をする。「私はあなたが大切なよ」、という思いを伝えていく。昔は人とふれあうことによって人間関係の構築ができていたが、今は LINE、Mail、文書などで、人と会わずに物事が進められる。それも便利で良いが、手渡しをして、相手に声かけをすること、横で座って聞いてあげることなど、今、温かみが一番必要であり、人の温もりについてこれから振り返るべき時がきていると感じる。

○ 不登校の方とその家族のサポートをさせていただけたらと思う。

○ 私立学校の通信制について、あまり情報が入手できていないが、公立の通信制のほうが授業料が安いと思う。

→ 徳島中央高校には、3 課程、しらさぎ中学校があり、様々な生徒たちが学校生活を送っていることは、本校ならではの強み、素晴らしいさだと思う。文化祭のように全校で行う行事もあり、他の課程の生徒とのつながりができる。

○ 私立学校はコマーシャルなどで宣伝している。徳島中央高校が魅力ある学校であることを一般の人はあまり知らないなので、もっと PR していただきたい。

○ 徳島中央高校、しらさぎ中学校の素晴らしい取り組みを、県民や全国の方々に知っていただけるよう広報を工夫してほしい。

○ HP がたいへん見やすくなった。PTA の分も作っていただいている。

○ 長寿命化はいつまで続くのか。

→ 西側は 1 月 31 日までの予定。東側は未定。

(5) その他

藤本教頭より今後の予定について連絡

6 閉会

